

## ごあいさつ

本市は、JR宇都宮線の白岡駅及び新白岡駅を中心に市 街地が形成され、都心へのアクセス性に優れた交通利便性 の高さや自然と調和した良好な住環境などにより、人口が 増加してきました。

しかしながら、全国的に人口減少が進行する中で、近い将来には、本市においても、人口減少に転じることが予測されています。また、近年の社会的課題である少子高齢化の進展や都市のスポンジ化、激甚化・頻発化する自然災害への対応などが、都市づくりに求められています。



このような状況を踏まえ、市民の皆様が、将来にわたって安心して快適に暮らし続けられるように、都市機能や居住の誘導を図り、持続可能なまちづくりを進めていくことを目的とする「白岡市立地適正化計画」を策定いたしました。

本計画は、「拠点の魅力と生活利便性の向上により、多世代に選ばれる居住地の形成」を将来像に掲げ、都市機能誘導、居住誘導、防災及び公共交通に関する目標を定めております。

今後は、本計画に基づき、市民や事業者の皆様と連携、協働しながら、皆様とともに 誰もが住み良いまちづくりを推進してまいります。

結びに、本計画の策定に当たり、貴重な御意見をいただきました市民の皆様をはじめ、 御尽力をいただきました都市計画審議会委員の皆様に心から感謝申し上げます。

令和5年3月

白岡市長藤井系一郎

## 目次

| 序  | 章  | 立地適正化計画の概要         | 1   |
|----|----|--------------------|-----|
|    | 1  | 策定の背景・目的           | 2   |
|    | 2  | 計画の位置付け            | 2   |
|    | 3  | 計画の内容              | 3   |
|    | 4  | 計画区域               | 5   |
|    | 5  | 計画期間               | 5   |
| 第  | 1章 | 市の現況と都市構造上の課題      | 7   |
|    | 1  | 現状                 | 8   |
|    | 2  | 都市構造上の課題           | 2 0 |
| 第2 | 2章 | 立地適正化計画で目指す将来の姿    | 2 3 |
|    | 1  | 立地適正化計画が目指す将来像     | 24  |
|    | 2  | 立地適正化計画における都市の骨格構造 | 2 6 |
| 第3 | 3章 | 誘導区域・誘導施設          | 4 1 |
|    | 1  | 都市機能誘導区域           | 4 2 |
|    | 2  | 誘導施設               | 4 6 |
|    | 3  | 居住誘導区域             | 4 9 |
| 第4 | 4章 | 防災指針               | 5 9 |
|    | 1  | 防災指針について           | 6 0 |
|    | 2  | 災害リスクの高い地域等の抽出     | 6 3 |
|    | 3  | 地区ごとの防災上の課題        | 70  |
|    | 4  | 地区ごとの課題を踏まえた取組方針   | 7 1 |
|    | 5  | 具体的な取組・スケジュール      | 72  |
| 第! | 5章 | 誘導施策               | 73  |
|    | 1  | 誘導施策の一覧            | 74  |
|    | 2  | 誘導施策の内容            | 75  |
|    | 3  | 届出制度               | 78  |

| 第6章  | 計画の推進に向けて |   | 79  |
|------|-----------|---|-----|
| 1    | 指標の設定     |   | 8 0 |
| 2    | 計画の評価・見直し |   | 8 4 |
| 参考資料 |           |   | 8 5 |
| 1    | 災害に係る現況   |   | 8 6 |
| 2    | 検討の経緯     | 1 | 0 5 |
| 3    | 用語集       | 1 | 0 8 |